

Personnel Training



はじめに

企業力を強化・向上させるためのテーマはたくさんあります。業務効率化、組織編成、成果主義、新制度導入、新事業…など。しかしながら、昔も今もやはり『企業は人なり』ではないでしょうか。だからこそ『人』を大切に考えた人材育成(社員・新入社員教育)やEAP(メンタルヘルスケア、コーチング、ハラスメント対応)などの総合的な従業員支援プログラムの有効性は非常に高いものがあると考えます。

弊社では各企業に於ける従業員支援プログラムを総合的対応、及びスポット的(部分的)対応をいたします。

人材育成 (社員教育・新入社員教育)

新 入社員の時期を過ぎると(入社後10年、20年の社員でも)、もう遅いではなく、まだ間に合うという意識を持って、改めて社員教育に取り組むことによって、社員のレベルアップに繋がります。また、本人の勘違いや、間違っただけの知識となっている場合もあります。

社員教育研修リスト

- ▶ ビジスマナー研修
- ▶ 電話応対、名刺交換、訪問
- ▶ コミュニケーション研修
- ▶ コミュニケーションの重要性
- ▶ 自分を知ること、相手を知ること
- ▶ 傾聴トレーニング
- ▶ グループリーダー研修
- ▶ ワークライフバランス研修

講師紹介

津村 裕美 (つむら ひろみ)

《経歴》

- 東京アナウンス学園卒業
- 経理・経営管理を長年に渡り経験
- 派遣会社取締役就任
- 武蔵野大学通信・心理学専攻在学中

《取得資格》

- 弥生会計・弥生給与インストラクター
- 第一種衛生管理者
- 企業ドクター
- ジュニアビジスマナーインストラクター
- 産業カウンセラー
- エグゼクティブコーチ講師

《所属・加盟》

- NPO茨城人材育成センター所属(会員)
- 日本産業カウンセラー協会会員
- 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会会員
- 株式会社アドサポート
- 日本うつ病学会会員

Employee Assistance Programs

EAP (従業員支援プログラム)

Employee Assistance Programs 支援活動のことです。の頭文字を取ったもので、「従業員支援プログラム」と訳されます。契約企業に対するメンタルヘルス(心の健康)やカウンセリング、心の病による休職者の復職支援や業務パフォーマンス向上などを目的とした社員の個人的な不安・悩み・ストレス問題の早期発見と問題解決のプロセスを通じて、職場のメンタルヘルスケアを支援することで、企業の事業活性、生産性の維持・向上を図ります。



メンタルヘルス

メンタルヘルスとは、心の健康のことです。とりわけ企業では、複雑な人間関係や長時間労働などのストレスにより、メンタルヘルスに不調をきたす人が増えてきています。メンタルヘルス研修をすることによって、事前の対応での予防をし、また、早期対応での悪化を防ぐことに繋がります。

強いては、それが職場の健康や活性化に繋がります。その結果生産量や能率アップ、業績アップにもつながることでしょう。

メンタルヘルス研修リスト

- ▶ 職場におけるメンタルヘルス不全者の増大
- ▶ 働く人たちの心の問題
- ▶ メンタルヘルスの基礎知識
- ▶ 職場でのメンタルヘルスケアがなぜ必要か?
- ▶ 労働安全衛生法と安全配慮義務
- ▶ 厚生労働省の職場のメンタルヘルス
- ▶ 経営の視点からメンタルヘルスを考える
- ▶ メンタルヘルス不全者への対処方法
- ▶ メンタルヘルス実践編
- ▶ メンタルヘルスアドバイスの実際
- ▶ 休職・復職に関して
- ▶ 事例でみる年代別・性別の問題
- ▶ 労働者の疲労チェック
- ▶ 傾聴トレーニング
- ▶ コミュニケーション研修

コーチング

コーチングとはコミュニケーションサポートです。「教える」のではなく、本人の気づきを促すことがコーチングの役割です。

相手が持っている特性と強みを活かして、その能力と可能性を最大限に発揮することを目的として、相手を自ら考えさせ、行動を促す為相手の取るべき手段を引き出すコミュニケーションサポートです。

経営者、管理職が コーチングスキルを身につけるメリットは?

経営者や管理職、リーダーがコーチングスキルを身につけると、その一言や対応が社員(部下)のモチベーションを上げるのです。受け身型の社員(部下)を自発的な社員(部下)へと成長させるのも、上司の対応の仕方によるとも言えます。社員(部下)との信頼関係を築くことによって、「やらせる」「教える」ではなく、自発的に「やってみたい」「やりたい」という気持ちがあるのです。

その他 その他パワーハラスメント・セクシャルハラスメントの研修等の対応を致します。